

# 2020 年度 特定非営利活動に係る事業報告書

特定非営利活動法人  
ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

## I. 事業の成果

### 1. 組織の運営

実績	成果・課題
会員は、運営会員 23 名、賛同会員 97 名 前年度に比較して、全体で減少 寄付件数は 4 件	会員数は、未納者も加えての数。 賛同会員と寄付者が重なっており、新規 会員獲得がテーマ
定例理事会を年 5 回開催	
事務局はボランティアスタッフも含め、20 名体制で運営	

### 2. 相談事業・NPOの支援事業

#### 相談事業

実績	成果・課題
事務所での相談は 25 件、四街道市みんなで地域づくりセンターでの相談は 47 件、年間で 72 件の相談件数	電話、メール等での軽微な相談の記録 が残せていない。
「新型コロナウイルス感染拡大への対応及び支援に関する千葉県内NPO法人等緊急アンケート」調査を 2 回実施、千葉県、千葉市に要望書を提出	県内他団体の連携・協働により、「新型 コロナウイルス」によるNPOの活 動・事業への影響についての集約と行政への提言ができた。

#### 講座、講師派遣事業

実績	成果・課題
千葉県市民活動団体マネジメント事業を受託実施 6 講座に延べ 207 名の参加、「出かけてサポート」を実施、個別 に団体の課題解決をはかる	定員を超えての受講申込みもあり、一 定の成果を得た。
NPOと行政との協働や団体のマネジメント、市民の地域づく り活動への参加等についての講座の企画、講師を派遣	

### 3. 地域づくりのコーディネート事業

#### ①四街道市みんなで地域づくりセンターの運営（地域づくりコーディネーター業務委託事業）

実績	成果・課題
オープン日 229 日、来所者数 3,184 人※ユニバーサル農業フェ スタ等を含む。新着情報 347 件、相談件数 47 件	「新型コロナ」感染拡大予防の視点でオー プンが例年より 20 日ほど減少、新着情報、 相談件数とも減少している。
・「子どもサポートプロジェクト」で 中高生のオープンスペース「RAKU まある」10 月～12 月オープ ン（他の月は「新型コロナ」対応で中止） ・子ども向けチラシ「こどもたちのいばしょさがし」各 12000 部作製し小学校に配布、WEB サイトによる情報発信 ・「子ども支援団体オンライン交流会」7 月と 3 月に開催	市民と協働して「子どもサポートプロジェ クト」を進め、場のある支援（居場所づく り）と場がなくともできる支援（情報発信） を進めた。
「子ども見守りサポーター養成講座～ネモネット 生きてい るだけで OK な場所～」開催、28 名参加	地域で子どもを見守る大人を増やすことを 目指す。
地域づくりサロン「シェアハウス生活のすすめ」開催 16 名参加、「まちにとけこむアート活動 ～だれでも参加でき るアートでまちづくり～」22 名参加	テーマに沿って、関心のある市民、団体の 参加が得られた。
・「みんなで災害支援を考えるつどい～四街道市に みんなで 災害支援ネットワークを！～」(8 月開催 29 名参加)、「第 1 回	災害支援をテーマに学習会、情報交換会を 継続開催し、四街道市内のネットワーク組

みんなで災害支援ネットワークミーティング」(11月開催、30名参加)、「東日本大震災から10年 被災体験に学ぶ「そしてつなげよう、明日へ」(3月オンライン開催32名参加) ・「四街道災害支援ネットワーク」が登録32団体、11月に設立。	織立ち上げにつなげた。
「オンライン里山活動団体交流会」開催、21名参加	
「ちばユニバーサル農業フェスタ 2020in 四街道」の開催	「新型コロナ」対策をした上で開催。団体同士や来場者と交流する場が作れた。
「コラボ塾」開催(5回)	「コラボ四街道(みんなで地域づくり事業提案制度)」への提案につなげた。
「市民団体の寄付集め」～ファンと資金を増やそう～(2回連続)開催、24名参加	
文字と写真で伝える連続ワークショップ「みんなで広報講座」開催、11名参加	
オンラインコミュニケーション支援事業を実施 「スマホタブレット講座」431名、「オンラインコミュニケーション講座」44名、フォローアップ23名参加	「新型コロナ」の影響で、孤立しがちな高齢者等の情報格差解消及びオンラインによるコミュニケーションを推進
情報誌「みんなで」の編集、発行、ホームページ、ブログ、facebook	市内の地域づくりの活動やセンター事業の情報発信ができた。

## ②富里市まちづくりコーディネーター育成業務

実績	成果・課題
コーディネーター会議(毎月2回)で研修を実施	事業企画、実行、進捗管理、ふりかえり、PDCAサイクルに沿って実施。
まちづくりコーディネーターが講師を務め、団体運営のコツを伝える「ミニセミナー」を企画実施	各自の経験、得意分野を活かした業務分担ができ、協働のまちづくりの考え方の標準化を図れた。市内の市民活動分野での人材発掘や新しい団体との出会いも芽が出てきた。

## ③多世代交流拠点「おおなみなみ」運営事業

実績	成果・課題
開設から7年が経過、「多世代交流」に視点を置いた事業を継続。	地域に定着してきた。 4、5月は休止。その後は、「新型コロナ」感染拡大予防に配慮し、オープン。
健康貯筋体操、アイチ体操、おとなのための英会話講座を継続開催	ボランティア講師の力が大きい。
「編み物サークル」等、主体的に活動するグループができた	
「みんなでランチ」は「新型コロナ」感染拡大予防により中止。フードパントリーや「青空市」(12月)を開催。生活クラブ虹の街から「子ども食堂」運営のための助成金3.9万円の助成を充当	開催形態を工夫しながら、交流・支援の場を設定できた。
「ロボットプログラミング」講座の会場等、スペース貸しにより運営費の確保	運営費充当ができた。
「新型コロナ」に対応し、マスクの作成、販売を実施	マスク不足に対応、新たな来所につなげた。

## ④千葉県ボランティア参加促進事業「ちばプロボノチャレンジ2020」

実績	成果・課題
支援対象団体とボランティア希望者をそれぞれ募り、10団体と26名のボランティア参加者のマッチングを行い、4カ月間の支	プロボノへの理解の促進と人材育成ができた。

援期間で一定の課題解決をはかれるようサポート	
「プロボノ報告会」3/27 をオンラインで開催、19 名参加	プロボノワーカー間で成果と課題の共有ができ、今後の事業イメージの共有がはかれた。

#### ⑤福島県県外避難者帰還・生活再建支援補助金事業

実績	成果・課題
千葉県内の生活情報や支援情報を掲載した被災者向け情報紙「縁 joy」を作成、被災元自治体の協力を得て、県内に避難している被災者世帯に送付（隔月 2000 部）	掲載内容の充実をはかることが課題
被災者支援情報交換会を 6/17、1/26 に開催	情報共有ができた。
県内の支援団体等がメンバーとする実行委員会により、イベント「縁 joy・東北 2020」を 11/4～7 に千葉市きぼーるで開催。「福島の花の写真」「発災直後の子どもたちの絵画」の展示等を実施。11/7（土）には箏の演奏会を開催、のべ 300 名参加。	「新型コロナ」対応で開催し、展示等を通して、被災者支援、被災者間交流がはかれた。 震災から 10 年を経て、避難者の状況、ニーズにも変化。目的、内容の再確認が必要。

#### ⑥福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業（福島県県外避難者相談センターちば開設）

実績	成果・課題
電話相談、対面相談を実施、電話による相談件数 55 件	同じ方からの相談が多い
避難者の方を講師に迎え拠点にて、避難者と地域住民と一緒に交流会を開催	避難者のやりがいにつながった。
そごうギャラリーにて、「忘れない東日本大震災—あれから 10 年」と題して、3/9～3/15 に、パネルを展示	一般の方に関心を持ってもらう良い機会になっている。

#### ⑦福島県避難者住宅確保・移転サポート業務

実績	成果・課題
電話相談 37 件（いずれも延べ数）	複合的な課題を抱えた方からの相談が多い。

#### ⑧千葉南部災害支援センターを拠点とする被災地支援活動

実績	成果・課題
NPO 法人ディープデモクラシー・センターとの協働で、鴨川市の「千葉南部災害支援センター」を拠点とした支援活動を継続実施	被災地への継続支援の拠点を持てた。
Yahoo! 基金助成「千葉南部災害支援センターを拠点とした南房地域の復旧・復興活動支援事業」を実施	台風 15 号による被災世帯の状況把握と復興に向けた人材育成ができた。
千葉南部災害支援センターとして、千葉県災害支援ネットワーク会議（準備会）設立に向けた話合いの場「世話人会」を 2/8、3/16 オンライン会議を開催し、三者連携を見据えた民間のネットワークづくりを進めた。	県域のネットワーク組織設立に向けての準備ができた。

#### ⑨浪江町ころ通信取材業務

福島県浪江町から関東圏に避難している町民や浪江町に戻った町民への取材協力を継続

#### ⑩生活クラブ安心システム八街コミュニティデザイン事業

風の村八街を拠点に地域住民のニーズの把握を通し、住民主体の地域活動づくり活動の促進に向け 9 月から事業実施。

#### 4. 広報事業

実績	成果・課題
ニュースレター「つぎの一步くん」70号、71号、72号を毎回700部発行。会員、県内外の市民活動センター・中間支援団体等に配布	「新型コロナ」への対応、プロボノや災害支援など、新しい動きを含め、団体の活動を課題とともに伝えた。
メールマガジン「通信・一步くん」を月2回配信	「新型コロナ」対応の団体運営、補助金の活用等、タイムリーな内容での情報提供ができた。
千葉の公益ポータルサイト「ちばNPO情報館」の登録団体（約100団体）に公開情報の更新をメール等で呼びかけ	資料提出と更新が滞る。「ちばNPO情報館」の意義、役割を明確化することが必要。
団体ホームページのほか、団体ブログ「NPOクラブの愉快的仲間たち」「縁joy東北～エンジョイ東北」、Facebookページ、Twitterページを適時更新	
千葉日報社の千葉の情報ポータルサイト「ちばとぴ！チャンネル」に「CHIBAKARA～ちばからチャンネル」を開設、適時更新	地域活動への関心を広げ、担い手の掘り起こしに一定つながったが、今後の発信の頻度が課題。
複数のメディア（朝日新聞、毎日新聞、読売新聞等）からの取材対応	「新型コロナ対応」「東日本大震災から10年」をテーマとした活動・事業について、一般に向けたアピールができた。

#### 5. 他団体との連携・協力事業

##### ①NPO法人地域創造ネットワークちばの事務局業務

実績	成果・課題
ユニバーサル農業で生産される農産物や加工品の販売促進を目的に、生活クラブ・スピリッツと提携、カタログに掲載、受注の取り次ぎを行った。	
12/5「第10回ちばユニバーサル農業フェスタ」を、四街道市文化センター前広場にて開催。出展22団体/17ブース（四街道近隣の農業、福祉事業者）、来場者700名、売上54万円。	新たに出展した団体との関係づくりができ、次年度につなげる。
第2回つながる経済フォーラムをオンライン開催、100名参加（市民、事業者・企業、NPO、行政、関係機関）	
講演会「地域とつながるものづくり⇒新しい価値をつくる」を3/29開催、これからの地域づくりのひとつの切り口として「ユニバーサル農業」の可能性を共有、広げること、「福祉×地域づくり」をテーマとした。20名/13団体参加	

##### ②その他の組織、団体との連携

公益財団法人ちばのWA地域づくり基金の理事として、業務執行理事ミーティング、定例理事会に出席し、寄付募集、助成審査、諸規定の改定、制定等に携わった。	「2019千葉県台風・豪雨災害支援基金」10件/358万円（累計185件/956万円） 「休眠預金等活用助成事業 新型コロナウイルス対応緊急支援助成」等の事業を通して、基金としての機能、役割が拡充できた。
生活クラブ千葉グループ協議会に参加し、年4回開催される役員会、運営委員会に出席、「生活クラブ安心システム」「街の縁側」「子どもの安心システム」に協力	
千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議に参加	
千葉県社会福祉協議会や県内自治体等設置の委員会や審査会に参画、就任。	

## II. 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
市民活動・市民事業に関する情報収集及び提供事業	【広報事業】 ・ニューズレター「つぎの一步くん」の発行 ・メールマガジン「通信・一步くん」の配信 ・団体ホームページ、ブログ、Facebook 等での情報発信	年 4 回 毎月 2 回 随時	当事務所 当事務所 当事務所	2 名 1 名 2 名	会員 120 名 他多数 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 会員 120 名 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体
市民活動・市民事業に関する講座事業	【講座事業】 ・主催講座開催 ・千葉県市民活動団体マネジメント事業	6/8 10 月～2 月	千葉市 千葉市 柏市 船橋市	2 名 6 名	市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 延べ 207 名の参加
市民活動・市民事業を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言または援助事業	【相談事業】 ・事務所での相談対応 ・四街道市みんなで地域づくりセンターでの相談 ・とみさと市民活動サポートセンター 【四街道市みんなで地域づくりセンターの運営】 【富里市まちづくりコーディネーター育成業務】 【我がまちシニア応援プロジェクト事業】 【ちばNPO情報館】 【NPO 法人地域創造ネットワークちばの事務局業務】 【風の村ファームの取組み】 【自治体、他団体との連携・協力業務】 委員会等にNPOの立場で関わるとともに、講座等の講師を担った。	通年 通年 通年 通年 通年 7 月～3 月 通年 通年 通年 通年	当事務所 四街道市 富里市 四街道市 富里市 千葉県内 千葉県内 千葉県内 千葉県内 千葉県内	6 名 7 名 1 名 7 名 1 名 2 名 1 名 2 名 1 名 2 名	市民活動・市民事業を行う団体、市民一般 相談件数 25 件 市民活動・市民事業を行う団体、市民一般 相談件数 47 件 市民活動・市民事業を行う団体、市民一般 入館者総数 3184 名 地域づくりコーディネーター6名、市民活動・市民事業を行う団体 センター職員 5 名、市民活動・市民事業を行う団体 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 延べ 300 名 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 市民一般、市民活動・市民事業を行う団体 ・千葉県、四街道市、千葉市、大網白里市、松戸市、印西市、習志野市、市原市 ・千葉県社会福祉協議会 ・中間支援組織 ・中央ろうきん
被災地・被災者支援事業	【福島県県外避難者帰還・生活再建支援補助金事業】 【福島県県外避難者への相談・交流・説明会事業】 【福島県避難者住宅確保・移転サポート業務】	通年 通年 通年	千葉県内 千葉県内 千葉県内	3 名 3 名 3 名	東日本大震災により千葉県内に避難している被災者、支援を行う団体 東日本大震災により千葉県内に避難している被災者、支援を行う団体 東日本大震災により千葉県内に避難している被災者
まちづくり・地域づくり事業	【多様な人々をつなぎ活かす交流拠点事業】	通年	千葉県内	2 名	市民一般 来場者数 約 1,000 名